

図11. 国土地理院F3 解とShen et al., (1996) の手法を用いて推定された面積ひずみ (左) 最大せん断ひずみ (右) 速度の分布 (北海道大学 [課題番号: 1003])

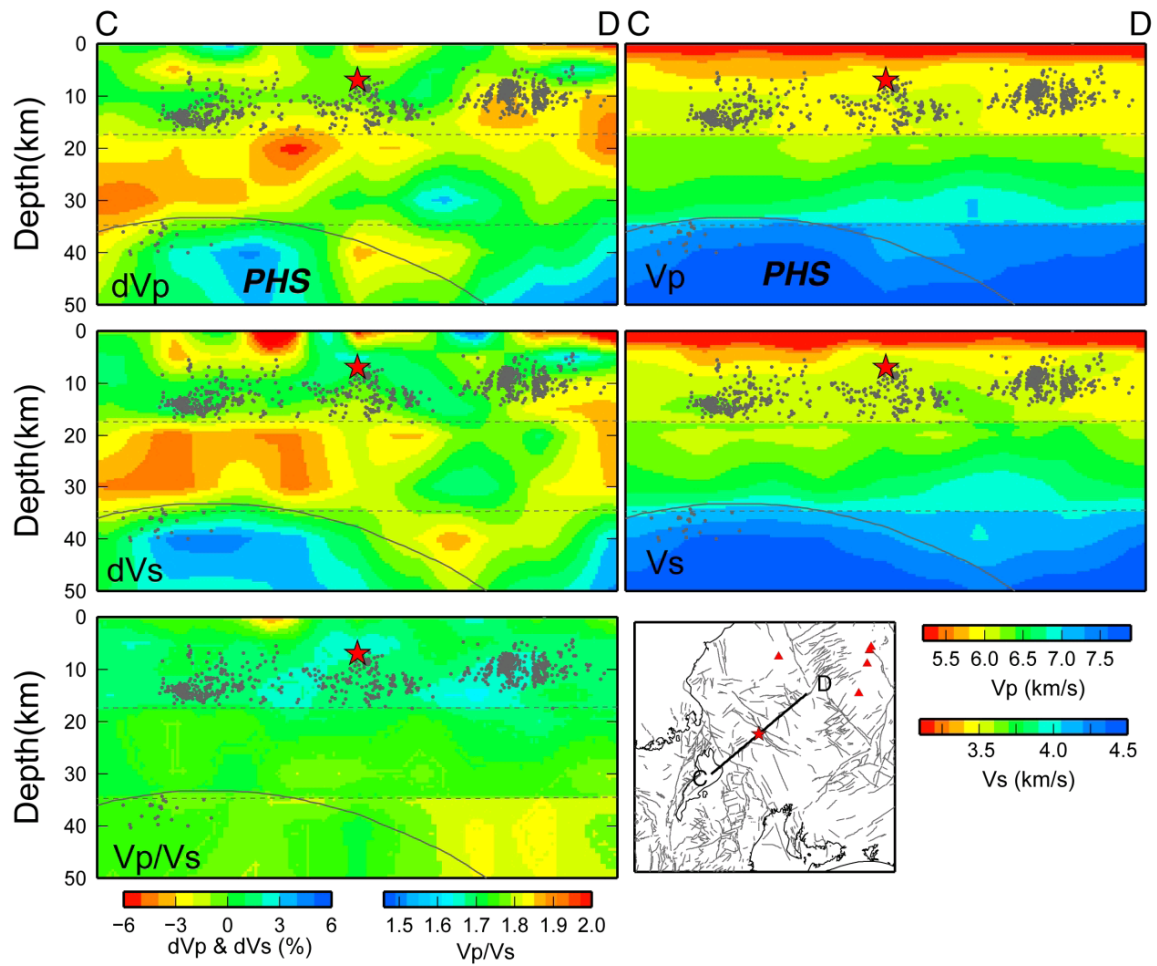


図12. 濃尾断層に直交する方向の鉛直断面図。赤星は濃尾地震の震源、灰色点は微小地震、灰色線はフィリピン海プレートの上境界 (東京大学 [課題番号: 1407])。

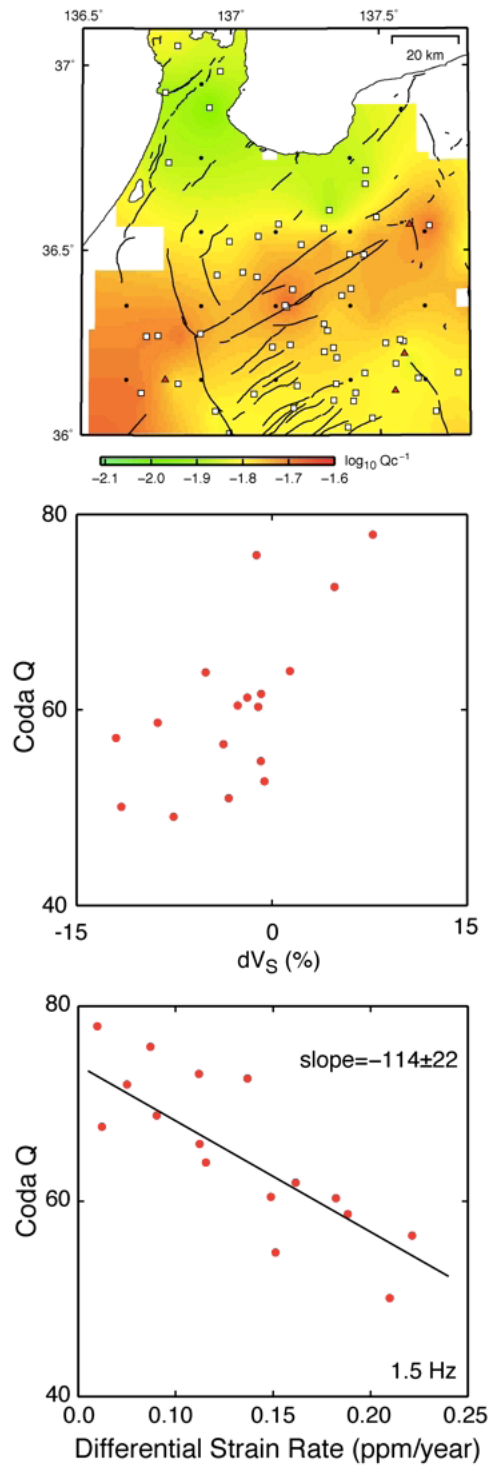


図13. 跡津川断層周辺の $Q_c$  推定結果。(上) 1.5 Hz の周波数帯における $\log_{10} QC^{-1}$  値の空間分布。白四角は解析に用いた地震観測点, 三角は活火山, 黒線は活断層, 黒丸はS 波速度構造や差ひずみ速度との比較に用いた点を表す。(中) 深さ25 km におけるS 波速度の摂動と1.5 Hz の周波数帯におけるQC 値の関係。(下) 差ひずみ速度と1.5 Hz の周波数帯におけるQC 値との関係(名古屋大学[課題番号:1705])。